

令和3年11月

第237号

議会 とよとみ

豊富町議会広報誌

9月定例会

[9月8日~10日]

豊富町議会からのお知らせ

令和2年度決算審査	2
9月定例会	6
議会レポート	8
議会が町のコトチェック	14
気になるあの人に聞いてみました	15
高校生の声・中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



「サロベツ湿原で育ったタンチョウの親子」長谷部 真さん撮影

令和2年度 決算

一般会計

68

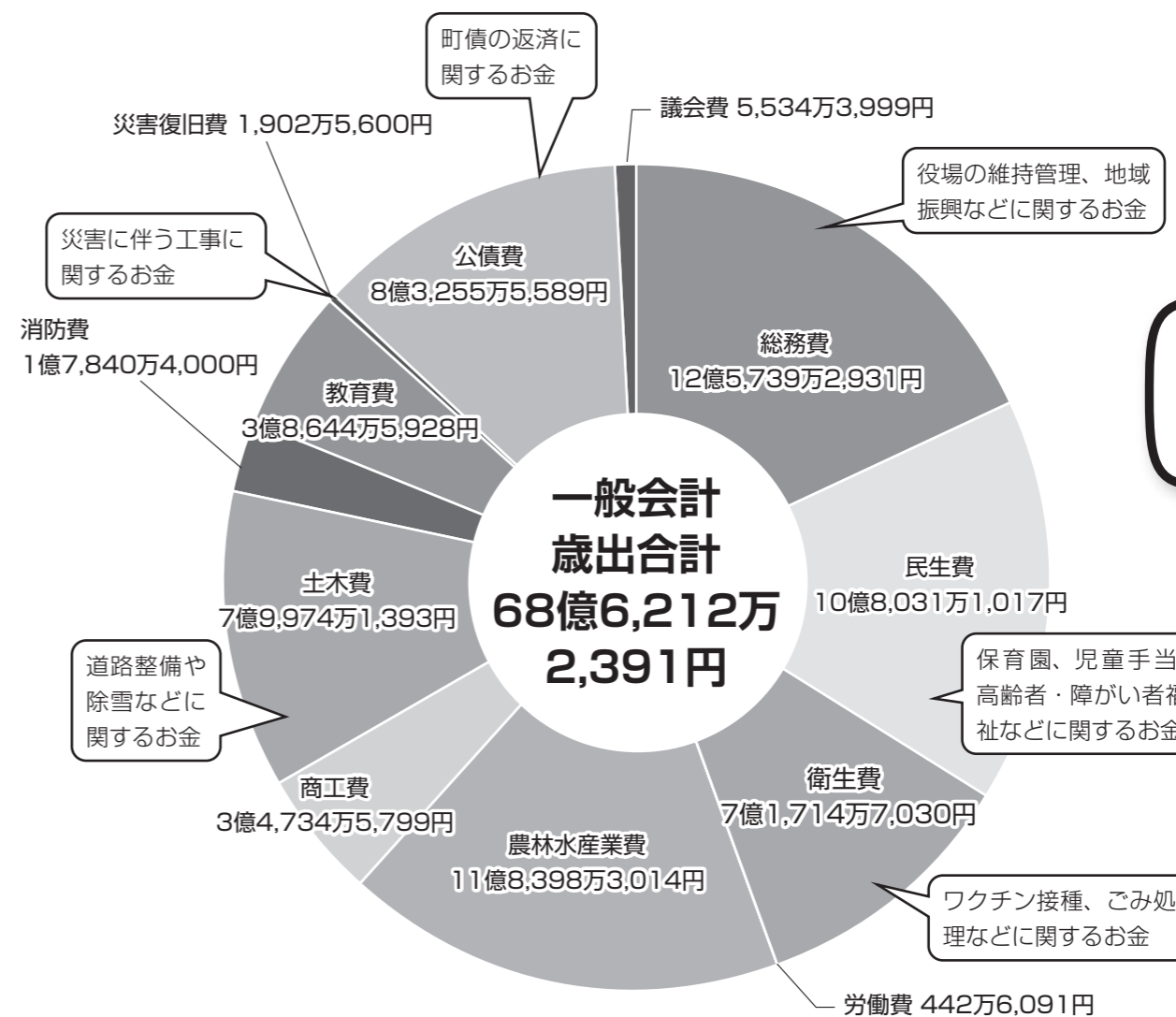
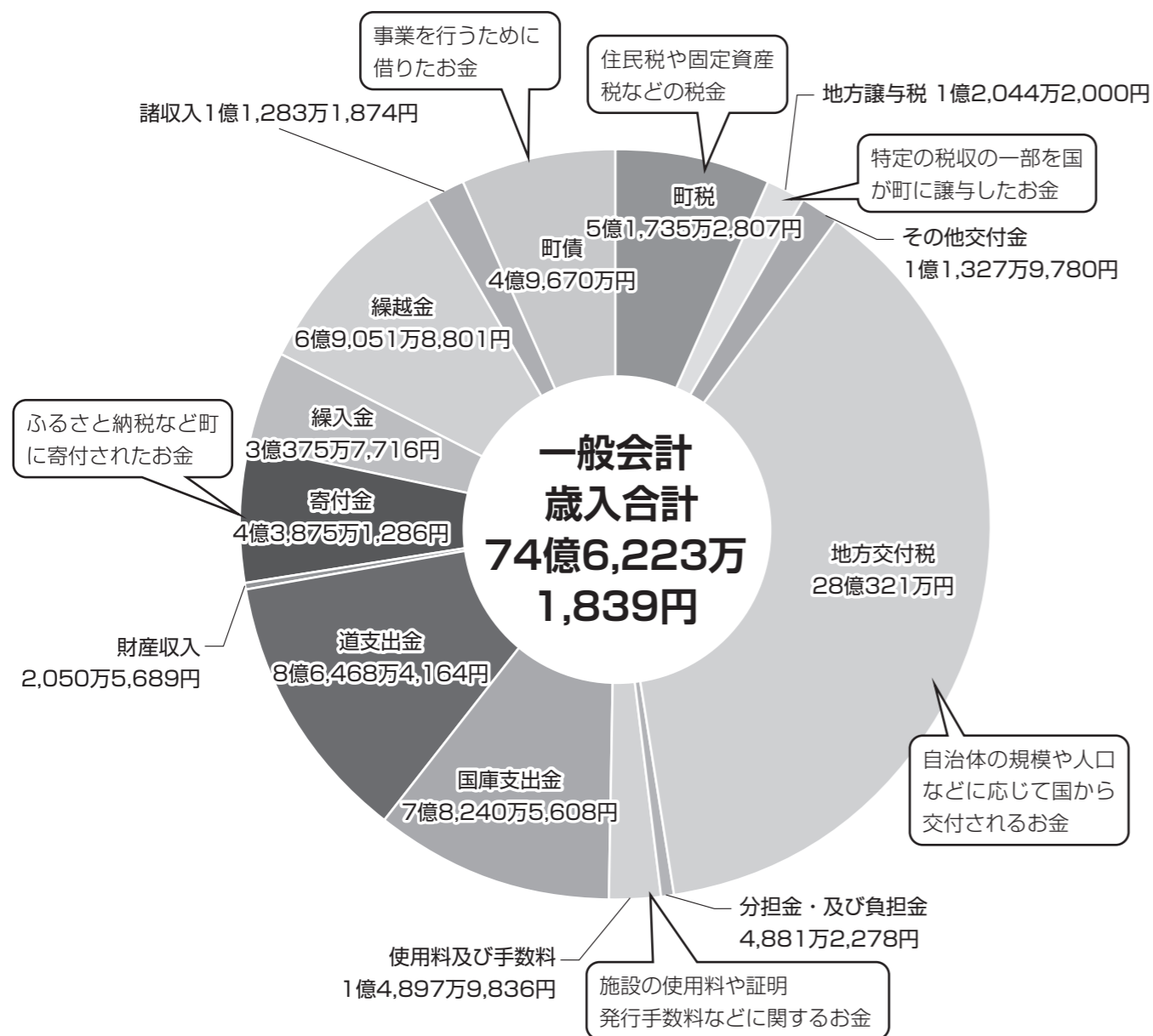
億円支出

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差引き額
一般会計	7,462,231,839円	6,862,122,391円	600,109,448円
国保事業会計	569,418,228円	538,644,259円	30,773,969円
後期高齢特別会計	62,069,878円	59,934,201円	2,135,677円
国保診療所会計	702,081,462円	617,922,922円	84,158,540円
簡易水道事業会計	232,834,099円	186,966,070円	45,868,029円
下水道事業会計	298,324,098円	282,488,078円	15,836,020円
介護保険会計	496,662,398円	468,275,650円	28,386,748円
介護サービス会計	18,328,306円	14,035,674円	4,292,632円
ガス事業会計	51,311,008円	46,381,814円	4,929,194円
合計	9,893,261,316円	9,076,771,059円	816,490,257円

令和3年第3回定例会において、令和2年度一般会計及び特別会計、企業会計決算の認定が提案され、予算決算常任委員会に付託し令和2年度決算を審査しました。

審査は会計ごとに行われ、適正に支出が行われているか、計画通りに事業が実施され、成果をあげているかなどについて質疑が行われました。

収入から支出を差し引いた額は8億1,649万257円となりました。



予算決算常任委員長
の審査報告

時代に即した新たなスタイルで
より一層の努力を期待

一般会計をはじめ各特別会計及びガス事業会計について、認定すべきものとして決定した次第であります。

時代に合った迅速な対応が今後の行政運営とその執行に向けて、反映と実現を強く希望するものであります。

近年、長引くコロナ禍等の影響により、雇用や所得環境の悪化など、地方自治体に対する経済環境は、益々厳しい状況下にありますが、一方で、時代に即した新たなスタイルでの住民ニーズへの対応等も求められております。

今後も税や、使用料負担の公平性を保ち、適切な財源の確保に努められ、行財政の効率的な執行により、健全財政が堅持されますとともに、議会との対応を密にし、町民の付託に応えるため、より一層の努力を期待いたします。



予算決算常任委員長 小笠原照美

兜 沼小中学校改修事業

217万円

兜沼小中学校の和式便器を洋式化し、児童生徒はもちろん多くの方が利用しやすいよう工事を行いました。



豊 富町牛乳消費拡大緊急対策事業

224万円

新型コロナウイルス感染症による臨時休校や外出自粛のため、牛乳の消費が低迷していたことから、全世帯に牛乳引換券を配布し消費拡大を図りました。



農 業水路等長寿命化・防災減災事業

1,914万円

兜沼配水池に設置している非常用自家発電機について、設置後34年が経過し部品の故障等も発生していることから、今後災害が発生した際に、安定供給を可能にするため、非常用自家発電機を農業水路等長寿命化・防災減災事業を活用し更新しました。



※8月26日に行われた令和2年度決算現地審査で監査委員が非常用自家発電機を見に行った様子です。

次 世代へつなぐ省力化農業支援事業

352万円

豊富町農業者の高い技術と意欲を次世代へ引き継げるよう、時代に合わせた設備投資を支援し、本町農業生産量の現状維持を目指します。



監査委員
からの意見

効率的な執行体制と弾力的な
財政体質の確立を求める



代表監査委員 白田浩一（右）
監査委員 前田孝一（左）

昨年度に続き未だに新型コロナウイルス感染拡大の収束は見通しが立たず、北海道経済の落ち込みは未だに厳しい状況であり、地域経済の回復、地方創生の取り組みや町民の暮らしを守る課題への対応など、町民の負託に適切に応えることが求められています。

今後、町民の負託に応えるためには、事務事業の継続的な見直しや、施策の選択・再構築を行い、スリムで効率的な執行体制と弾力的な財政体質を確立し、限られた財源を重点的に配分するなど、新たな町民ニーズに対し柔軟で的確に対応できるようより一層の努力が必要です。

コロナ禍をはじめ、出口の見えない長引く不況に伴う税収等の伸び悩みや、地方交付税の在り方が不透明であることから、自治体が置かれている現状は極めて厳しい状況であること再確認し、町民が安心して暮らせる町づくりのため、積極的な対応を望みます。



町民の利便性向上に向けて

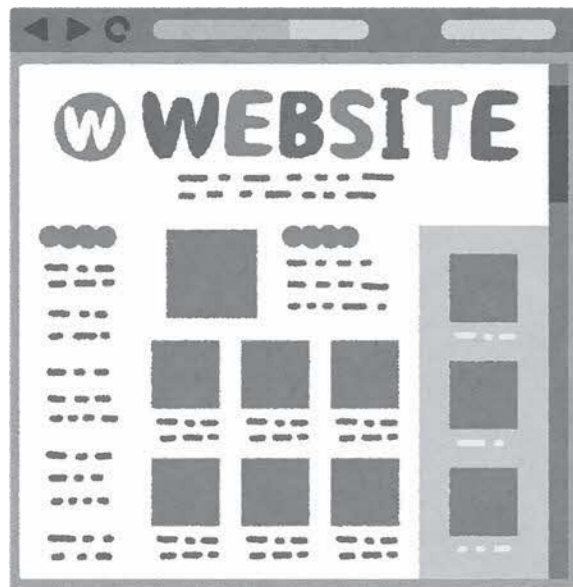
豊富町国保診療所 HP制作費用の予算計上

新規事業

豊富町国民健康保険診療所直診勘定 特別会計補正予算 69万円

診療所を利用される町民の皆様への利便性向上のため、新たにHPを作成し、豊富町のHPでは分かりづらい部分があった外来診療のご案内等を分かりやすくしていきます。

また、診療所の全国的な入口としても活用したり、新しいHPからスマートフォンでスムーズに受診の予約ができることを目標に、デジタルを取り入れる前段として独立したHPを制作していきます。



こちらをご覧ください！

議員の賛否



豊富町感染防止対策支援金について



経費負担が増加している事業者を支援

豊富町感染防止対策支援



新規事業

豊富町感染防止対策支援事業 782万円

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、町内における感染防止及び感染防止対策用品の設置・使用により経費負担が増加している事業者へ支援金を支給します。

支援金

・20,000円

申請期間

・令和3年10月1日～11月30日の2か月間

対象

・豊富町内に本店又は支店、営業所を有する法人事業者

・町内に住所を有する個人事業者

支援金の支給は10月1日より既に開始しております。詳しいお申込み方法は下記のURLからご覧ください！



地域の持続的発展に向けて

豊富町過疎地域持続的発展市町村計画の策定

この計画は、令和3年4月1日より施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、過疎地域として指定された豊富町の持続的発展を目的とした計画です。

これまで、旧法に基づいた計画に沿って町政運営を行っていましたが、令和2年度を持って計画が完了したことから、今回新たに計画を策定し進めます。

Question!

旧法と新法は何が違う？

(旧法) 過疎地域自立促進特別措置法
人口減少により生産機能や生活環境の整備が低い地域について、計画的な対策を実施するために必要な特別措置を行うことで自立的な促進を図り、地域格差の是正等に寄与する。

(新法) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法
過疎地域への移住者の増加、情報通信技術を利用した働き方への取組みといった過疎地域の課題解決に向けた動きを加速させ、自立促進と持続可能な地域社会の形成にむけ取り組むもの。

つまり・・・

新法では過疎地域の役割や課題を明確にし、更に法の目的を「過疎地域の自立促進」から「過疎地域の持続的発展」に変更しました。

本計画は13項目により構成されており、町民皆様の生活に関わることについて様々なことが計画されています。

詳しい内容については、下記のQRコードよりご覧ください！

こちらをご覧ください！

豊富町過疎地域持続的発展市町村計画



議会レポート

[参加議員 計8名]
 ・千葉久・大島憲昭・鎌倉和雄
 ・小笠原照美・佐々木政義
 ・前田孝一・水戸部正博・竹中隆浩

町議会議員による 高校生議会事前サポート 授業に参加しました!

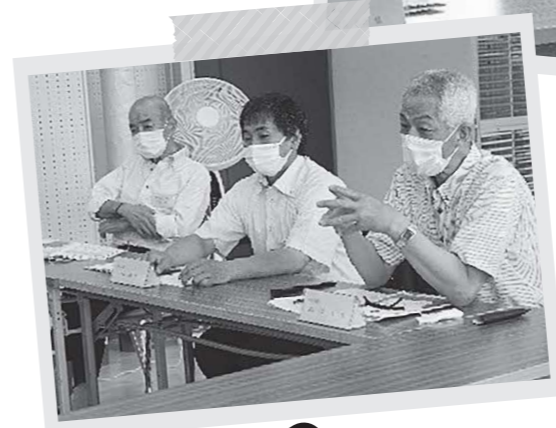
7月21日に豊富高校で行われた「町議会議員による高校生議会事前サポート授業」に、本町議会議員計8名が参加してまいりました。

このサポート授業は、10月15日開催予定の本町議会と豊富高校3年生12名で行われる「高校生議会を円滑に開催するための活動で、高校生議会内で行われる一般質問のやり方や、質問通告書の書き方、豊富町の現状についてなど、議員が高校生にアドバイスや情報提供を行いました。高校生と交流を深めることで、若い視点から町の課題を見つげることができ、今後の議会活動の向上につながる時間となりました。



感想 佐々木政義 議員

10月15日開催予定の高校生議会を円滑に進めるため、事前サポート授業ということで3年生12名と議員8名による交流を行い、豊富町の現状や課題について情報提供や質問通告書の書き方などのアドバイスをさせていただきます。高校生の皆さんが町政に関心を持ち、町をもっと良くするための提案に期待したいと思います。



感想 水戸部正博 議員

高校生議会に向けて、サポート授業を行いました。

授業の中で町の公園について高校生から提言がありました。高校生は公園を利用する方の年代が近いからか、発言にとても説得力を感じとても印象に残りました。

来年もこのような取り組みを行うのであれば、道徳教育の観点について(正義、公正、社会的役割と責任など)、高校生と議論してみたいと思いました。



議会レポート

[参加議員 計6名]
・佐々木政義・水戸部正博・千葉久
・小笠原照美・佐々木誠・竹中隆浩

豊富町商工会青年部と懇談会を行いました!



8月5日に広報広聴常任委員会にて、豊富町商工会青年部の3名の方にお集まりいただき、懇談会を行いました。

町の事業である商工活性化補助金について、町内の公園の維持管理について、その他、町の事業や設備に対して多くのご意見をいただき、今後の議会活動に繋がる懇談会となりました。

また、部員の皆様が議会からの要望を聞いてくださり、議会からはコロナ禍でイベント等が延期や中止となっているため、子供たちの思い出に残るような場を商工会青年部の皆様に作っていただけるようお願いしました。

今年も豊富町を盛り上げるべく、様々なことに取り組む商工会青年部の皆様との懇談会は、とても有意義な時間であり、豊富町の地域発展にますます期待ができると感じました。

お忙しい中、貴重なお時間をいただきました。ありがとうございました。



感想 竹中 隆浩 議員

商工会青年部役員と懇談をして商工活性化補助金や子供が遊べる町内の遊具、奨学金について意見を聞きました。補助金の周知方法を工夫したり、近隣町村と同等な規制やルールの改善をするべきという意見があり、子供が遊べる環境づくりや町民が使いやすい補助金のあり方、定住に繋がるような奨学金制度を十分検討する必要があります。



議会レポート

[参加議員 計8名]

- ・佐々木政義・水戸部正博
- ・小笠原照美・竹中隆浩・千葉久
- ・大島憲昭・鎌倉和雄・多々良勝

豊富温泉 コンシェルジュ・デスクと 懇談会を行いました!

8月20日に豊富温泉コンシェルジュ・デスクと懇談会を行い、コンシェルジュスタッフ2名、健康相談員2名の計4名の方々にご参加いただきました。

湯治のやり方や、一般湯と湯治湯の違いなどをご説明いただき、湯治をサポートされる立場からのお話をお伺いすることができました。

懇談を通して、豊富温泉は豊富町にとって大変価値のあるものであると再認識できたので、豊富温泉をより多くの方に広められるよう、私たちにできることを考えていきたいと思えます。



豊富温泉コンシェルジュ・デスクとは？

コンシェルジュ・デスクは【豊富温泉の総合案内所】です。湯治のご相談を始めとして、周辺交通機関、宿泊施設のご案内などを行っています。

また、湯治客の憩いの場でもあり、同じ悩みを持つ仲間同士、交流の場としてもお使いいただけます。滞在中のお友達づくりの場としてぜひご利用ください!

場 所：ふれあいセンター 2階
 営 業 時 間：10：00～17：00 (12：00～13：00はお昼休みです)
 お問い合わせ：0162-82-3782



感想 小笠原照美 議員

日頃、湯治客の総合案内に従事している皆さんの率直な意見をお聞きすることが出来ました。

豊富温泉を訪れる方への窓口として欠かせない存在になっている一方で課題も多く、移住者を受け入れる環境整備として、「住むところ」と「働くところ」がないと挙げられ、他には湯治客も含め「食料品店」が温泉地区にないなど、生活に関する相談も多いです。

豊富町独自の湯治留学制度等により、年々湯治客が増えているため、まずは移住を検討している人のための環境整備が急務だと痛感しました。

今後は、地域・自治体が一体感を持ってこれらの課題解決に努めることが「湯治客にやさしいまちづくり」になると考えます。

また、コンシェルジュ・デスク及びふれあいセンターでの職場環境改善の要望としては、室内にエアコンが設置されていないため、本州よりも室内が高湿、多湿の日が多いとの声に改めて職場環境整備が必要と感じました。



気になるアノ人に聞いてみました!

北宗谷農業協同組合の
組合長として
豊富町の酪農を守る

高谷 優さん (69歳)

北宗谷農業協同組合の組合長を務められ、豊富町及び沼川の持続的発展と町民に安全で安心な農畜産物の提供に努める高谷組合長にお話を聞きました。

(9月27日)

聞き手/水戸部正博 佐々木誠



—豊富町に来たきっかけを教えてください。
生まれてから現在まで豊富町に住んでいます。生まれも育ちも豊富町です。

—現在のお仕事内容を教えてください。
北宗谷農業協同組合(以下「JA北宗谷」という。)の組合長を務めており、JA北海道信連の役員も兼任しております。

JAという組織は、組合員を守るためにあり、豊富町の基幹産業である酪農を守り続けるためには、JA北宗谷は欠かせない存在です。

私は、JA北宗谷の組合長として組合員はもちろんのこと、JA北宗谷に勤める職員やパートを含めた約140名の生活と、酪農を守ることが私の一番大切な仕事です。

また、JA北宗谷は豊富町の酪農を更に発展させるため、今後はより積極的に行政や議会と協力していくことが大切だと考えています。

—豊富町の魅力を教えてください。
豊富町の良いところはたくさんありますが、やはり他の町に比べて台風や地震による災害がとても少なく住

みやすいところだと思います。町民のみならず、これから移住・定住される方は安心して暮らせるのではないのでしょうか。

—豊富町に必要なもの、不便なことはありますか?
酪農の生産量は年々減っています。原因としては離農による農家戸数の減少や労働力不足が考えられますが、その分をカバーできるほどの新規就農者の数は多くありません。

豊富町の基幹産業である酪農を衰退させないよう、今後は行政と一体となって離農を出来るだけ減らし、新規就農者を増やしていくことが豊富町にとって必要だと思います。

また、豊富町は都会に比べ不便なことはもちろんあると思いますが、豊富町を良い町だと思い、自分で環境を良くしていくことで「ここに居て良いんだ」と思えることが大切だと思います。

—高谷組合長、ありがとうございました!



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重な審議が行われます。「豊富町はどうなっている? 私たちの税金はどんなコトに使われるの?」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

ふれあいセンター

Q ふれあいセンターにエアコンを設置することは可能か

町内の学校等にエアコンが設置されたが、湯治客が多く利用するふれあいセンター内にはエアコンが一台もない。今後設置する計画はあるのか。

A 設置できるよう進めている

湯治客や従業員が館内の温度が高く体調を崩してしまうことから、エアコンの設置を求める意見があったので、電気設備等を含めて館内全体にエアコンを設置できるよう見積の手配をし検討している。

公営住宅改修工事

Q 公営住宅や改修工事は正しく行われているのか

改修工事の対象となっている公営住宅について適正に工事が行われていないのではないか。中途半端に直し基準を満たすのではなく、住環境を考え改修を行ってほしい。

A 事業者を含め協議する

生活環境の整備は完全なもの



して整えていかなければならないので、事業者の方としっかり話し合いながら、改善できる箇所はしていきたいと思います。

豊富町過疎地域持続的発展市町村計画

Q 計画にメリハリをつけるべき

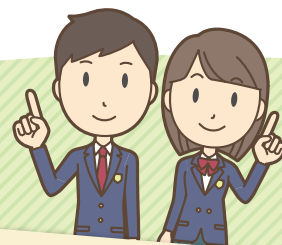
計画の中には今までやってきたことばかりが掲載されているため、思い切った戦略を立ててメリハリをつけるべきである。

A 計画を見直し内容を膨らませる

今回の計画は第5次まちづくり計画をベースとして作成し、今後計画変更をしながら内容については膨らませていく。

＼ 高校生の声 ＼

私の考える豊富町の顔



豊富高校2年生

菊地 さくらさん

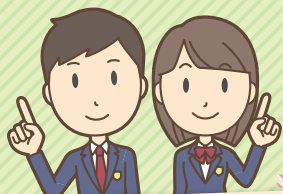


私は、生まれた時からずっとこの町に住んでいます。そんな私はこの豊富町がやりたい事や考えている事を実現できる町だと考えています。例を挙げるならば、お店の展開やイベントの開催です。「フェルム」がオープンした当時は、こんなにも人気が出るとは思いませんでした。それが今や豊富町の顔となり、全国からお客さんが来ているそうです。また、イベントについてもそうです。毎年、豊富温泉で行われている「トヨタミサイル」をご存知でしょうか。道内外からアーティストが来ていて、観光客も道内のみならず本州からも来ています。私も毎年参加していますが、その規模はなかなかのものです。これもまた顔の一つとなっているものですから、本当にすごいと思います。

豊富町はこれらを見ても、やりたい事や考えている事を実現できる町です。この調子でもっと豊富町の名前が広まり、たくさんの人々に知ってもらえたらと思います。

＼ 中学生の声 ＼

豊富町の魅力



豊富中学校3年生

安藤 優希さん



私が思う豊富町の魅力は、優しさあふれる町民のみなさんや、豊富町だけにある大自然だと思います。昨年の11月下旬に豊富町観光協会が企画してくださった花火大会とライトアップはとてもきれいで感動しました。私は、家の窓から見させていただきましたが、コロナでの学校生活のストレスや不安がすべて消えました。観光協会の皆さんの「町民の方々に喜ばせたい！」という気持ちは町民の方々全員に伝わっていると思います。観光協会の方々本当にありがとうございました。

このように、“お互い協力して励まし合う”そんな豊富町と豊富町のみなさんが私は大好きです。豊富町に住んでいることを誇りに思っています。

私たちはまだまだ未熟ですが、今の私たちにできることは一生懸命に取り組んで今よりもっと大自然ですてきな豊富町にしたいです。

表紙撮影者メッセージ

▶サロベツの湿原で育ったタンチョウ親子が刈り終わったデントコーン畑に落穂を広いに来ていました。毎日のように畑に現れ、雪が降ると道東の越冬地に旅立っていきました。
撮影場所：サロベツ湿原

次回定例会は

12月です

(12月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌
議会とよとみ 第237号

発行日/令和3年11月11日
発行責任者/議長 千葉 久
編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】
〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目
TEL 0162-82-1001 FAX 0162-82-2806